

十勝総合振興局 フードマイレージキャンペーン実施結果



キャンペーン概要

フードマイレージとは、食糧の輸送量に輸送距離を掛け合わせた指標のことで、食糧の輸送が地球環境に与える負荷を把握するものです。

振興局職員が、生活に支障の無い範囲で地域の食材を選んで食べる地産地消に取り組むことにより、地球環境に与える負荷を減らす行動につなげることを目的に実施しました。

重点実施期間

令和3年12月15日（水）～令和4年1月14日（金）

実施結果

- 参加人数 55名
- 重点期間中に地域の食材を選ぶことで削減された二酸化炭素（フードマイルズ）の量 合計83.5 Kg-CO₂（環境生活課窓側照明（蛍光灯6本）消灯約4ヶ月半分に相当）

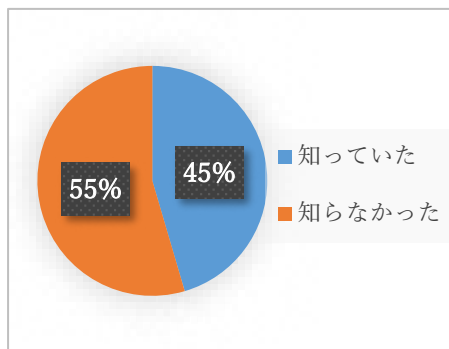
※ フードマイレージは、食材の移動に伴い排出された二酸化炭素のみの指標となっていて、生産過程から排出される二酸化炭素は考慮していません

今後の取組

本キャンペーンの取組内容及び結果を庁舎1階ゼロカーボン推進コーナーで情報発信し、また、より多くの方に参加いただけるようパンフレットを作成し、併せて同コーナーで掲示するなどして、引き続き、ゼロカーボン北海道の実現に取り組んでまいります。

【アンケート結果】

Q フードマイレージ（フードマイル）という名称は知っていましたか？

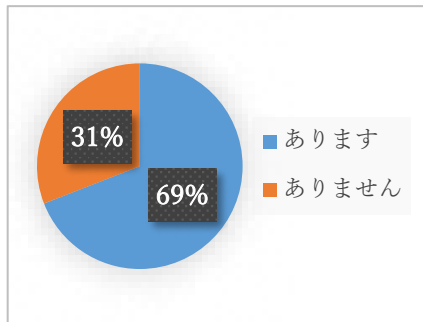


多くの方参加していただき、環境問題に関心を持っていただけました！



【アンケート結果】

Q フードマイレージを認識したことで変わった意識や行動はありますか？



【あります】

- 二酸化炭素の排出削減に対する意識が高くなった
- 産地を気にするようになった など

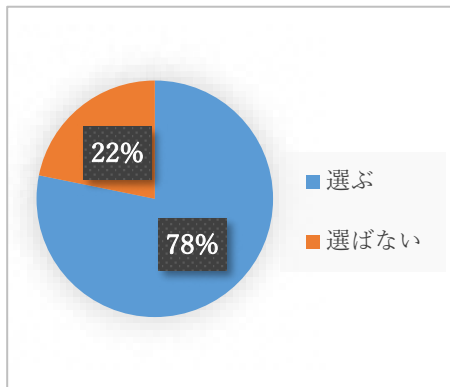
【ありません】

- 元々、地元産の食材を選んで買っていた

【その他】

- 食材の輸出拡大を進めている考え方と整合がとれない
- 食品ロスを減らす方が効果がある
- 輸入食材の方が安いので、輸入食材を選んだ など

Q これからもフードマイレージを意識して食品を選びますか？



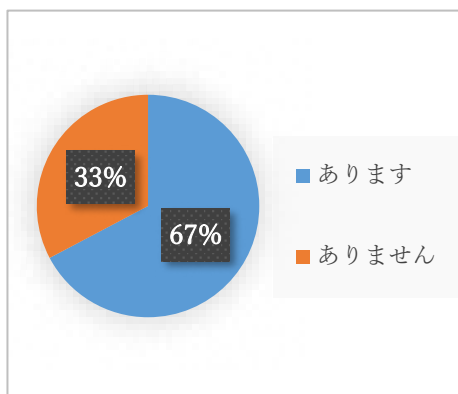
【選ぶ】

- 地元産の食材のおいしさに気づいた
- ゼロカーボンに取り組むため
- 地域貢献（消費拡大）になるため など

【選ばない】

- 輸入食材の方が経済的だから
- 二酸化炭素の排出削減に寄与できたか実感が少ない
- 食の安全を優先した結果、地元食材を選んでいるから
- 元々、地元食材を選んでいたので など

Q 今後取り組んでみたい二酸化炭素削減に関する取組はありますか？



- 通勤回数を減らす（在宅勤務）
- 庁舎の空調関係の省エネルギー、節電
- 暖房・給湯器の温度設定を今より低くする
- なるべく徒歩・自転車で移動する、公共交通機関の利用
- 緑化、グリーンカーテン、植林へ参加
- 公用車のハイブリット、EV化、照明のLED化、太陽光発電の導入
- マイ箸、マイボトルの持参、プラごみの削減
- フードロスの削減 など